

機器利用技術講習会のご案内

【UV-Vis-NIR 分光光度計（紫外-可視-近赤外分光光度計）】

地方独立行政法人大阪府立産業技術総合研究所では、所有している試験研究機器等を用いて中小企業の皆様の新技術・新製品の開発や生産管理・品質管理のお手伝いさせていただいております。これら試験研究機器の利用範囲や仕様・性能などの特徴を、より具体的にご理解いただき、皆様方に一層ご利用いただくため、下記の要領で講習会を開催しますので、ご案内申し上げます。

◆日 時：

平成26年7月17日（木） ① 9：45～ ② 13：15～ ③ 15：15～
各コースの講習時間は約1時間です。

◆場 所：(地独)大阪府立産業技術総合研究所（和泉市あゆみ野 2-7-1）

当日は、講習開始時刻前に当研究所の玄関ホール 講習会受付前に、お集まりください。担当者が講習会場にご案内します。

◆定 員：各コース（①～③）とも1社のみ。参加人数は1社3名まで

- ※ 受講票は発行しません。定員を超えたときは、お断りする方のみにご連絡します。
- ※ 受講にはTRIカードが必要です。まだお持ちでない方は当日お申し込みいただけます(無料)。

◆参加費：無料

◆申込み先：(地独)大阪府立産業技術総合研究所 顧客サービス室 顧客サービス課

- ※ お申し込みはメール (fukyu@tri-osaka.jp) またはFAX (0725-51-2509) でお願ひします。メールでお申し込みを頂いた方のみ、返信で受付をお知らせします。なお、メールでお申し込みを頂いた方には、当研究所の関連情報をお知らせする「産技研ダイレクトメールニュース」を配信させていただきますので、ご了承下さい。

◆対象機器：UV-Vis-NIR 分光光度計（紫外可視近赤外分光光度計）

UV-Vis-NIR（紫外-可視-近赤外）分光光度計は、紫外～近赤外領域までの吸光度・透過率・反射率を測定する装置です。本装置は従来の有機化合物の構造解析や比色分析だけでなく、紫外線遮蔽材料・熱線反射材料・断熱材料といった省エネ関連材料、太陽電池モジュール用部材（カバーガラス・反射防止膜・バックシートなど）や各種ディスプレイの構成部材などの光学特性評価を行うことが可能です。さらに、試料への入射角を任意に変化させながら、反射率および透過率を測定できる可変角絶対反射測定装置を備え付けていますので、光学特性の角度依存性を詳細に評価することができます。本装置に付属しているソフトウェアから、日射反射・透過率計算、色彩計算、膜厚計算を行うことが可能です。

本講習会では、装置の概要を簡単に説明した後、積分球を用いた透過率・反射率測定、可変角絶対反射測定の実演と日射透過反射率測定の説明を行います。試料等に関するご質問は、下記講習担当者までお問い合わせください。



機種名：島津製作所製
Solid Spec 3700

◆講習担当：(地独)大阪府立産業技術総合研究所

繊維・高分子科 主任研究員 井上 陽太郎

・お問い合わせ先：顧客サービス課（TEL：0725-51-2518）

